

# 令和5年度 永中の学校経営

## I 本校の教育目標

時代を生き抜く健全な生徒の育成

- 探求の人
- 愛情の人
- 協調の人

(平成9年4月改定)

## II 校訓 聡 明

「聡」は聞かざるなく、「明」は見ざるなし。すべてをよく聞き、よく見る。そして外なる世界のみならず、自分自身の声に素直に耳を傾け、自分自身の姿を冷静に見つめる。そこに、正しい理解力・判断力・実践力が身につく、自主自立の精神が深められる。

## III めざす生徒像

- ◎ 夢や目標の実現を直向きに追い求める生徒（探求の人）
- ◎ 温かい言葉と笑顔、思いやり豊かな生徒（愛情の人）
- ◎ 協力し合いより良い校風と伝統を築く生徒（協調の人）

## IV めざす教師像

- ◎ 生徒への深い愛情と豊かな人間性をもつ教師
- ◎ 教育への使命感と責任感を持ち、信頼される教師
- ◎ 教育のプロとして学び続け、向上する教師
- ◎ 同僚と共に学び支え合い、チームの力を高める教師

## V 経営の基本方針

- ◎ 地域に照らされ輝きを放つ「地域の宝・永中生」の育成を目指し、校下地域における連携を一層深め「確かな実践・着実な前進」に努める。

## VI 本年度の重点目標（令和3・4・5年度）

- ◎ **学びをつなげ、心をつなぎ、他者をつながる生徒の育成**

学びをつなげ	探求の人	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校での学びと家庭での学びの相乗効果を図る</li> <li>○自分の興味・関心や特性を学びに生かす</li> <li>○基礎的基本的な知識・技能をもとに、より深い学びを追求する</li> <li>○学びと将来の進路・生き方を関連づける</li> </ul>
心をつなぎ	愛情の人	<ul style="list-style-type: none"> <li>○思いやりの心を持ち、いじめ・差別・偏見に立ち向かう行動力をもつ</li> <li>○命の大切さを理解し、健康で安全な生活を心掛ける</li> <li>○自分の思いを伝えるための表現を積極的に工夫する</li> <li>○細やかな感性と感謝の心をもつ</li> </ul>
他者をつながる	協調の人	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な個性・価値観を受容し、互いに高め合う行動力をもつ</li> <li>○集団生活の意義を理解し、自律的な行動に努める</li> <li>○自己を客観的に評価する態度をもつ</li> <li>○世の中への関心を高め、よりよい校風・地域づくりへの参画意識をもつ</li> </ul>

## VII 経営の重点 ※MG (Minimam Goal : 最低限の目標)

### 1 創意工夫にあふれ、組織的で活力のある校務運営

重点目標の実現のため、教職員個々の持ち味を生かしながらチームとして様々な変化に素早く対応し、よりよい方策を志向・協働できる校務運営体制を整備する。

#### 【取組指標】

- 教育活動の成果や課題を的確に捉え、活かす学校評価の工夫**100**
- ICTの活用等による業務の効率化と横断的な連携による働き方改革の推進**96.8↑**
- 運営委員会の機能化（学年・分掌会議との連動）による職員会議の効果的・効率的な運営**100**

### 2 新たな教育課題に対応し地域の教育資源を生かした教育課程

新学習指導要領の趣旨を踏まえ、育成すべき資質・能力を明らかにするとともに、地域社会や学校の特色を生かした本校ならではの教育課程を編成、実施する。

#### 【MG】

- 学力向上プランに基づいた取組の推進（全国学テ・学力テストデータの活用）
- タブレット活用の記録化（簡便な方法で指導計画に反映させる）と交流

#### 【取組指標】

- 学習指導要領の趣旨を踏まえた、効果的なカリキュラムマネジメントの推進**86.8↓**
- GIGAスクール構想に対応した指導計画の作成と授業実践**87.1↓**
- 担当者間で指導方法や評価方法を共有し着実な進行管理を図る教科経営**87.1↓**

### 3 生徒個々の自己理解を促進し、社会的資質や行動力の育成を図る学年・学級経営 教師と生徒の信頼関係のもと生徒同士の共感的な人間関係をはぐくみ、集団生活を通し、学びの質の向上と一人一人の健全な成長を促す学年・学級経営を推進する。

#### 【MG】

- 「そろえる」取組の再検討（確認）と徹底（レベルアップ）

#### 【取組指標】

- 好ましい人間関係の育成と支持的風土の醸成**100**
- 基本的な生活習慣を身に付けさせ規範意識や思いやりの心を育てる指導**96.8↓**
- 一人一人の学びを保障する学習環境や言語環境の整備**93.8↑**

### 4 個々の教師力を磨き学校全体の授業力を高める研修の推進

教科の特性を踏まえた研究と今日的な教育課題に正対した実践重視型の研修を授業力向上のための両輪と捉え、還流や協議を基に全教師で取り組む校内研修を推進する。

#### 【MG】

- キャリアステージに応じた個人研修課題の設定（校内、校外研修）：一覧作成
- 教科部会の定例化（4/9/2月 教科の重点課題と取組を集約、マネジメント強化）

#### 【取組指標】

- 各教科・領域における課題の明確化と取組の重点化**96.8↑**
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指す授業実践**90.3↑**
- 各種研修会・研究会への参加と還流の促進**67.7↓**

## 5 潤い・安心・信頼を生み出す環境整備と危機管理

豊かな情操をはぐくむ潤いのある環境を整備するとともに、生徒が安心して学ぶことができるよう学校内外の安全確保や危機管理体制の確立に努める。

### 【MG】

○整備担当区域の明確化と美化活動の推進（教員減による効率的な美化活動）

#### 【取組指標】

○校舎内外の清潔さと潤いを保つ環境整備と環境美化活動の推進**96.9↑**

○感染症拡大防止対策の徹底と「学校安全計画」に基づく安全管理や安全教育の推進  
**100↑**

○「危機管理マニュアル」「情報セキュリティー規約」の周知・徹底**96.9↑**

## 6 豊かな学びを支える条件整備と適切な事務執行

生徒の学びの環境を一層豊かにするため、必要な教材・教具の整備や計画的な学校営繕を進めるとともに、準公費的性格のある私費会計の適切な管理、執行に努める。

### 【取組指標】

○施設・設備点検の励行と計画的、重点的な学校営繕の推進**100**

○感染防止対策やGIGAスクール構想に対応した備品・教材・教具等の整備**96.9↓**

○保護者負担の軽減と私費会計の適切な取扱、および適切な執行と金銭管理**100**

## 7 保護者、地域との協働関係の構築と地域ぐるみの健全育成

学校経営方針や学校の諸活動についての説明責任を果たし、相互理解と連携のもと地域ぐるみで生徒の健全育成を図る。

### 【MG】

○学校だよりの掲載内容の工夫（各分掌等の取組を掲載し、保護者の協働を促進する）

○コロナ禍における活動の精選（削るだけでなく新たな視点で活動を検討する）

○CSに関する理解と活動参画の促進（まずは先生方から）

#### 【取組指標】

○HP・各種通信の活用と懇談等の場の設定の工夫による、適時性のある情報提供と啓発の促進**96.8**

○CS化を受けた連携の推進**87.1↑**

○PTA、部活動後援会、地域行事参加等を通じた連携、協力**87.5↑**

## 8 生徒、保護者、地域から信頼される教職員

法令遵守はもとより、永山中学校職員としての誇りと喜びをもった業務推進に努めるとともに、支え合う同僚性に裏打ちされた「明るい職員室」づくりを進める。

### 【取組指標】

○コンプライアンス委員会による、計画的・継続的な啓発活動の推進**100↑**

○報告・連絡・相談の徹底による機動的な協働体制の確立**96.9↑**

○潤いのある人間関係の醸成と自己管理能力の向上によるメンタルヘルスの増進

**93.5↓**

## VIII 指導の重点 ※MG (Minimum Goal : 最低限の目標)

- 1 目指す資質・能力を明確にし、学びの個別最適化と協働化を組み合わせた学習指導  
各教科・領域で育成すべき資質・能力を明確にし、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を組み合わせた授業実践を軸に「確かな学力」の育成を図る。

### 【MG】

- 授業内容の定着・深化を促す（短時間の）家庭学習
- 指導と評価の一体化に伴う評価の在り方と改善
- 個のニーズ、興味関心に基づいた自主学習の促進

### 【取組指標】

- 学習指導要領が目指す資質・能力を育成するための指導と評価の一体化**100↑**
- GIGAスクール達成目標に基づいた授業実践**93.5↓**
- 学力向上対策（永中八策）の共通理解と実践強化**86.7↑**

- 2 道徳的な判断力・実践力を育てる道徳教育

本校生徒の現状に即した重点を明らかにし、「特別の教科 道徳」において「考え、議論する」学習を展開・交流するとともに、各教科や体験活動等との関連を図り、全教育活動を通して道徳的实践力の育成に努める。

### 【MG】

- 学年道徳・全校道徳など授業形態の工夫、指導案づくりの輪番制・授業交流など、効果的な授業実践と指導力向上の取組

### 【取組指標】

- 本校生徒の道徳性に関する現状把握と重点の明確化**100↑**
- 道徳教育推進教師をリーダーとする全校的な取組の推進**96.6↓**
- 「特別の教科 道徳」における「考え、議論する」授業の交流**90.4↑**

- 3 自己有用感を高め、集団生活の向上に向けた実践力を育てる特別活動

生徒の主体性が発揮される集会活動や学校行事を創意工夫し、自己有用感や集団への所属感、連帯感を高め、一人一人が役割を果たすことの大切さや社会の形成者としての自覚をもたせる。

### 【MG】

- 自治活動の促進を図る課題設定（教師陣のコンセンサスを得た課題設定・教育計画への掲載→本年度の活動重点の見える化）
- 学校経営と生徒会活動の連携（生徒指導提要の改定に伴う、自治活動を通しての決まりの改革）

### 【取組指標】

- より良い校風を築き集団への所属感や連帯感を高める学校行事の工夫**96.7↑**
- 一人一人の活躍の場をつくりリーダーを育てる係活動や生徒会活動の推進**96.9↑**
- 集団の中でよさや可能性を発揮し自己有用感を高める活動の工夫**100↑**

- 4 共感的な生徒理解に努め、自己指導能力を育てる生徒指導

生徒一人一人の人格を尊重し、きめ細かで共感的な生徒理解に努めるとともに、自

己存在感や自己決定の場を与え、自分で立てた目標達成のため、自らを律し責任をもって行動する能力を育てる。

**【MG】**

- 不登校生徒の具体的ケアの充実(児童生徒理解支援シートの活用と小学校との連携)
- いじめ防止基本法をベースにしたいじめの防止対策と組織を活用した取組
- 普通学級に在籍する生徒の中で、特別な支援を必要とする生徒の見取りと具体的な支援の取組の検討(児童生徒理解支援シートの活用)

**【取組指標】**

- きめ細かな生徒理解と全教職員による情報共有**90.6↓**
- 生徒と向き合いふれあいの中で望ましい行動様式を身に付けさせる指導**100↑**
- SCや諸相談機関と連携を図った教育相談の充実(不登校対応)**93.8↑**

5 運動に親しみ、健康で安全な生活習慣をつくる体育・健康安全指導

体力・運動能力調査の結果をもとに体力向上プランを策定し、様々な場面で運動に親しみ、たくましい体づくりに進んで取り組む態度を養うとともに、自他の生命、安全を守り健康的な生活を営むための判断力や行動力を育てる。

**【MG】**

- 本校生徒の健康・体力運動能力上の課題の共通理解

**【取組指標】**

- 向上プランに基づく体力づくりや健康の保持増進を図る活動の工夫**96.9↓**
- 保健主事や養護教諭を中心とした保健指導の充実と健康的な生活習慣づくり**100↑**
- 健康や安全に関する喫緊の課題に対する指導**100**

6 自己理解に根ざした社会的・職業的自立を促すキャリア教育

全学年を通じて生き方や進路に関する学習を推進し、学ぶことや働くことの意義を考えさせるとともに、将来の目標を確立し主体的に進路を選択する能力を育てる。

**【MG】**

- 感染症対策を講じた活動の工夫(ねらいに基づいた代替案の準備)

**【取組指標】**

- キャリアパスポートの活用による系統的・横断的なキャリア教育の推進**96.8↑**
- 地域社会とのつながりを重視した体験的なキャリア教育の推進(総合)**83.9↑**
- 主体的な進路の選択や将来設計に関する指導の充実(学級活動)**96.8↓**

7 個々の特性と教育的ニーズを踏まえ、発達を支える特別支援教育

障害のある生徒の特性や教育的ニーズを踏まえ個別の指導計画に基づく指導を進めるとともに、発達障害や集団不適應などに対する全校での支援体制を充実する。

**【MG】**

- 特別支援教育に関する校内研修の実施

**【取組指標】**

- 個々の教育的ニーズの共有化(打合せの定例化・個別の支援計画・指導計画の活用)を基盤としたインクルーシブ教育の推進(交流学級での居場所づくり)**93.6↑**
- 自己理解を進め、社会参加する力を育む生活指導・生徒指導の充実**96.7↓**

○保護者や関係機関との連携推進と校内支援委員会による支援体制の充実**87.5**↓

8 目標に向かい真摯に取り組み、心身の鍛錬を図る部活動

部活動の地域移行は、旭川市（スポーツ課・教育指導課）の取組を踏まえながら、慎重に推進することになります。よって、R 5年度も R 4年度と同様の重点として位置づけます。

「部活動ガイドライン」「部活動に関わる確認事項」に基づき、全ての部が同一歩調で生徒の主体的な活動を促進し、共通の目標達成のために協力し高め合うことを通じ、個性の伸長を図るとともに、好ましい人間関係の育成や社会性の涵養に努める。

**【MG】**

○働き方改革を進め、指導の効率化と顧問間の連携による時短の推進

○大会予定・結果の共有と活用（データとして入力・共有・活用）

○生徒個々が育ちを自己評価し、改善を図るサイクルの確立（生徒の声・保護者の声を生かす活動）→アンケート作成や集計を部活動後援会にお願いする方法もある

**【取組指標】**

○異学年集団での活動を通して、仲間意識や挨拶、礼儀など社会性を培う活動の充実 **90.3**↓

○保護者と全教師の理解をベースに複数顧問制による指導体制の充実**93.5**↓

○部活動での学びを、日常生活につなげる指導の充実**93.8**↑

※取組指標の目標値について

取組指標の数値は、R 3年度と R 4年度を比較した増減です。よって、R 5年度は、R 4年度をベースにして、下記の数値目標を達成できるように取り組みます。

- 青字↑について
  - ・令和4年度を下回らない
  - ・90以下の場合は、90以上を目指す
- 赤字↓について
  - ・90以上の場合は、0.1ポイント以上を目指す
  - ・90以下の場合は、90ポイント以上を目指す